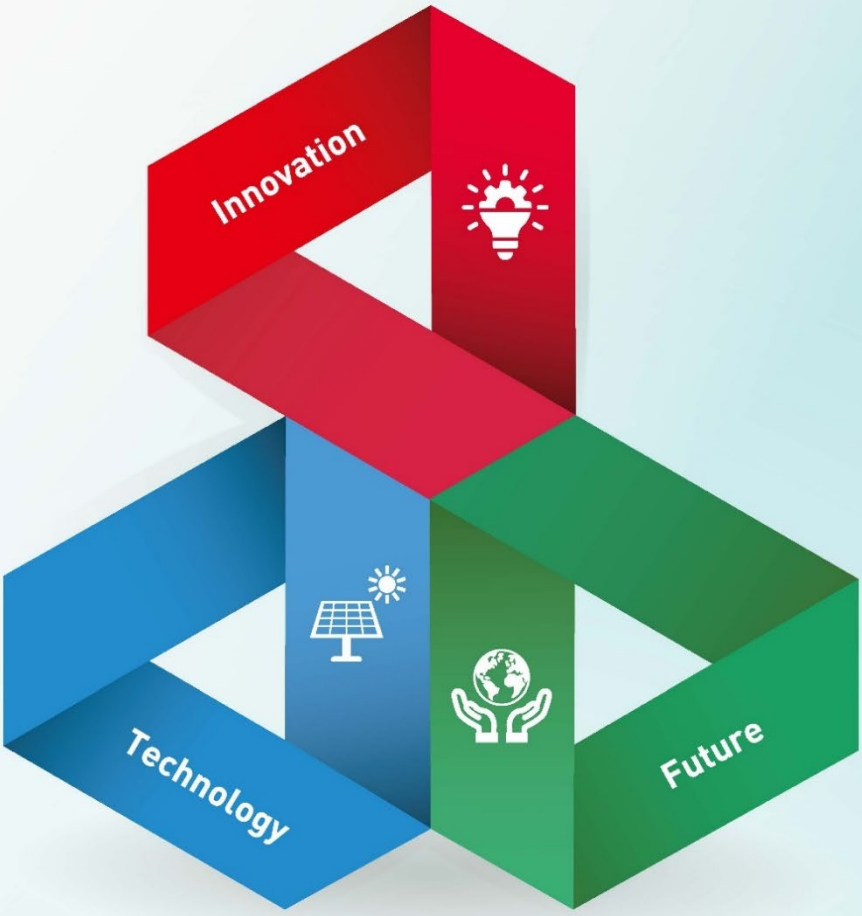
COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市



Clean Technology, Green Future.

次世代環境技術で、
未来を拓く。

Eco Tech Fair kawasaki

第17回 川崎国際環境技術展

The 17th Kawasaki International Eco-Tech Fair

実施報告書

場所 カルッツかわさき 神奈川県川崎市川崎区富士見1-1-4

日時 2024.11.13 水 ／11.14 木 10:00▸17:00

主催:川崎国際環境技術展実行委員会

川崎市／川崎商工会議所／経済産業省 関東経済産業局／(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構／(独)日本貿易振興機構／(国研)産業技術総合研究所／(独)国際協力機構
(独)中小企業基盤整備機構／(独)環境再生保全機構／慶應義塾大学／明治大学／専修大学／国際連合工業開発機関／(地独)神奈川県立産業技術総合研究所
NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター／(一財)日本環境衛生センター／川崎市地球温暖化防止活動推進センター／川崎市工業団体連合会／川崎工業振興倶楽部／(公財)川崎市産業振興財団

第17回川崎国際環境技術展の成果について

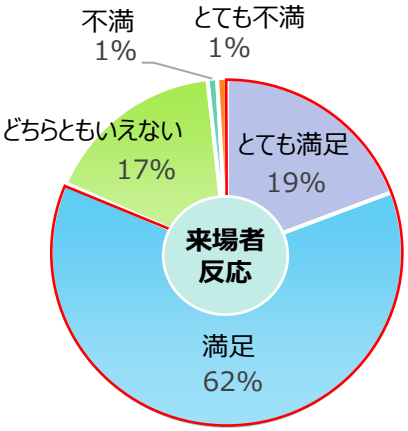
多くのビジネスマッチングが創出されることにより、出展者の満足度や次回の出展希望の向上が図られるなど、質の高い展示会となりました。

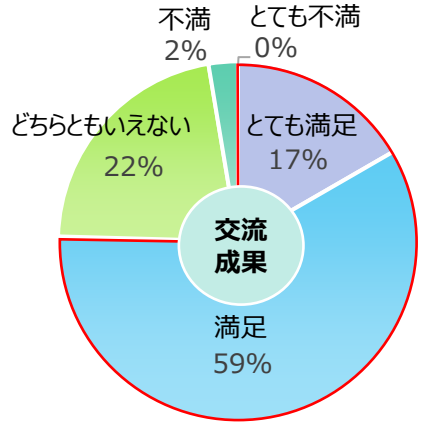
会期2日間を通じたビジネスマッチング

- ブース訪問者数 **7525名**
- 名刺交換枚数 **5314枚**
- ビジネスマッチング数 **805件**
- 面談実施件数 **320件**
- 商談成立数 **91件**

前回同指標（20件）から大幅に増加！

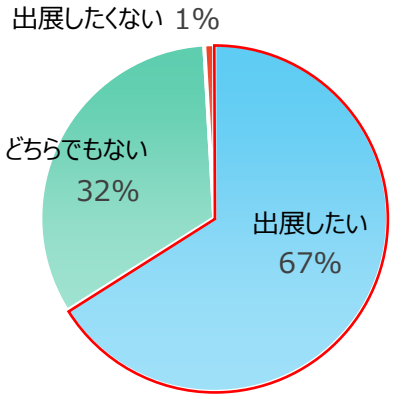
出展を通じた満足度（出展者アンケート）





来場者の反応や交流の成果についておおよそ80%の出展者が「とても満足」「満足」と回答しています。

次回の出展意向（出展者アンケート）



前回の出展者アンケート実施時（出展したい：49%）に比べ、より多くの出展者から次回の出展希望をいただいています。

一貫したフォローアップ体制やマッチングを生み出すツールの提供、充実した企画やイベントの実施により、**質の高いビジネスマッチング等、様々な成果を生み出しています。**

会期の前後を含めた出展者へのフォロー

出展者と来場者、出展者同士のビジネスマッチングを契機としたより多くの新事業や、受発注の機会を創出するため、会期中に限らず会期の前後を含めた出展者へのフォローを実施しています。

会期前
- ✓ 出展者へのヒアリング
- ✓ マッチング相手となる来場者の誘致

会期中
- ✓ マッチングブースでの同席、面談摘録作成等出展者へのフォロー

会期後
- ✓ 好マッチング等の事業化に向けたフォローアップ

多様なビジネスマッチングツール

会期当日のマッチングを創出するため、会期中に出展者、来場者の双方にご利用いただける多様なビジネスマッチングツールを提供しました。

出展者ピッチ

18の出展者が登壇
延べ314名が参加

(⇒ P.11)

マッチングブース

事前予約約40件を含む
77件の面談を実施

(⇒ P.18)

ビジネス交流会

76の出展者が参加
満足度が最も高いツール（※）

(⇒ P.18)

※出展者アンケートより

市制100周年特別企画

今回は、川崎市が市制100周年を迎えたこと記念し、特別企画としてこれからの100年に向けて求められる要素となる「国際」「若者」「協業」のキーワードに即したイベントを実施し、これまでにない形のマッチングを創出しました。

市制100周年「国際」特別企画「ASEAN×EU meet-UP DAY」

ASEAN政府関係者、
EU企業を招致

(⇒ P.15)

市制100周年「若者」特別企画「未来へつながるSDGs～私たちにできること～」

学生と企業が一体となり
交流するイベントを開催

(⇒ P.13)

市制100周年「協業」特別企画「Kawasaki Open-innovation Square」

新規事業創出を志す
大手企業を招致

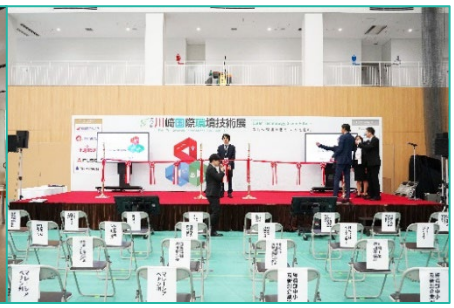
(⇒ P.12)

開催主旨

国内外の環境問題に即応する環境技術から地球環境問題を解決する最先端の環境技術まで幅広く展示を行い、川崎から国内外へ発信するとともに、出展企業・団体と国内外の企業等とのビジネスマッチングの場を提供することを目的として、「川崎国際環境技術展」を開催しています。

目次

開催概要	4
会場風景	5
出展企業・団体一覧	6
展示会場レイアウト	7
講演・セミナー	8
市制100周年記念講演	9
その他イベント・各種企画	11
市制100周年特別企画	12
国際関連企画	16
ビジネスマッチングの成果/出展者へのサポート	17
出展者インタビュー	19
出展者アンケート	21
来場者アンケート/出展者・来場者の声	23
広報活動	27
各種制作物	29



開催概要

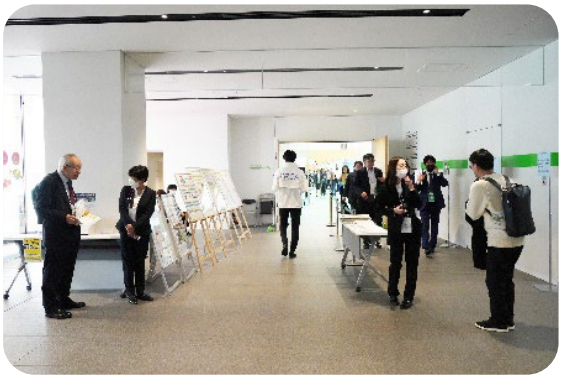
名称	第17回川崎国際環境技術展 The 17th Kawasaki International Eco-Tech Fair
テーマ	Clean Technology, Green Future. 次世代環境技術で、未来を拓く。
会期	2024年11月13日（水）・ 11月14日（木） 10:00～17:00
会場	カルッツかわさき 神奈川県川崎市川崎区富士見1-1-4
主催	川崎国際環境技術展実行委員会 川崎市、川崎商工会議所、経済産業省 関東経済産業局、 （国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構、（独）日本貿易振興機構、 （国研）産業技術総合研究所、（独）国際協力機構、（独）中小企業基盤整備機構、 （独）環境再生保全機構、慶應義塾大学、明治大学、専修大学、国際連合工業開発機関、 （地独）神奈川県立産業技術総合研究所、NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター、 （一財）日本環境衛生センター、川崎市地球温暖化防止活動推進センター、 川崎市工業団体連合会、川崎工業振興倶楽部、（公財）川崎市産業振興財団
協賛	【ゴールドスポンサー】 川崎商工会議所、川崎信用金庫、富士通Ｊａｐａｎ株式会社、三菱ふそうトラック・バス株式会社、 エリーパワー株式会社 【シルバースポンサー】 株式会社クレハ環境、環境エネルギー技術研究所株式会社、株式会社シーエスデー、味の素株式会社 東京ガス株式会社、神奈川トヨタ自動車株式会社、株式会社横浜銀行、JFEグループ 【ブロンズスポンサー】 川崎市信用保証協会、綜合警備保障株式会社、株式会社光和
協力	神奈川県、（一社）日欧産業協力センター、（一社）海外環境協力センター

来場者数

日付	天気	来場者数
11月13日（水）	晴	約2,750名
11月14日（木）	晴	約2,300名
合計		約5,050名 （前年対比 約10%増）

出展者数

出展者数（小間数）	（内） 市内中小企業	（内） 初出展
123団体（167小間）	53団体 （全体の43%）	41団体 （全体の33%）



会場風景

▲ 展示会場の様子①

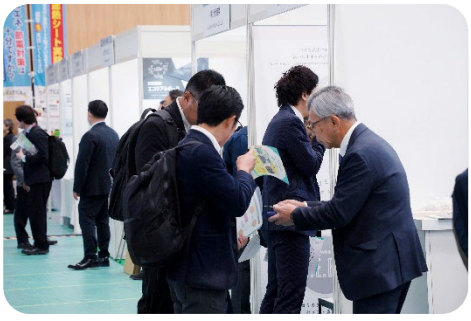
▲ 世界初の量産電気小型トラックを屋外展示

▲ 展示会場の様子②

▲ 小学生に燃料電池自動車の仕組みを説明

▲ オープニングセレモニーでのテープカット

▲ 川崎市内企業の表彰式



▲ 展示ブース前でのやりとりの様子

▲ 大型モニターを使っての説明

▲ 大会議室での企業向けセミナー

▲ 割り箸のアップサイクルを実践

出展企業・団体一覧 (ブース番号順)

A 資源リサイクル技術

来邦工業株式会社	A-1
日本ダスト株式会社	A-2
株式会社和田商店	A-3
合同会社ESSH	A-4
株式会社光洲産業	A-5
日本道路グループ	A-6
株式会社アサギリ	A-7
株式会社レゾナック	A-8
株式会社島津製作所	A-9
株式会社アリスミ２１	A-10
和光産業株式会社	A-11
株式会社津田沼技研	A-12
株式会社セントラル科学貿易	A-13
社会福祉法人同愛会リプラス	A-14
一般社団法人川崎ゼロ・エミッション工業団地	A-15

B エコソリューション

株式会社タクボ精機製作所	B-1
有限会社りかでん	B-2
メディサイエンス・エスポア株式会社	B-3
株式会社ショウエイ	B-4
株式会社タイソーマンGX	B-5
特定非営利活動法人資源リサイクル システムセンター	B-6
株式会社日本海水	B-7
光明理化学工業株式会社	B-8
株式会社エニマス	B-9
東京ガス株式会社	B-10
株式会社ヘミセルロース	B-11
慶應義塾大学 新川崎タウンキャンパス 理工学部 応用化学科 奥田研究室	B-12

C エネルギー関連

株式会社シーエスデー	C-1
東京電力パワーグリッド株式会社 川崎支社	C-2
株式会社エノア	C-3
ソリッドバッテリー株式会社	C-4
株式会社イスズ	C-5
株式会社協和商会	C-6
株式会社マイルストーンジャパン	C-7
川崎市新エネルギー振興協会	C-8
株式会社クレハ環境	C-9
株式会社ユニヴァ・ジャパン	C-10
株式会社ウイングビルド	C-11
株式会社近藤工芸	C-12
エレックス工業株式会社	C-13
株式会社サンオータス	C-14
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術 総合開発機構(NEDO)	C-15
川崎未来エナジー株式会社	C-16
ペクセル・テクノロジーズ株式会社	C-17
エリーパワー株式会社	C-18
株式会社山王	C-19
三浦工業株式会社	C-20
株式会社荏原製作所	C-21
トキコシステムソリューションズ株式会社	C-22

D SDGsへの貢献

株式会社Kラインサービス	D-1
富士設計株式会社	D-2
東京メータ株式会社	D-3
株式会社ユニオン産業	D-4
生物系特定産業技術研究支援センター	D-5
株式会社堀内製作所	D-6
株式会社流機エンジニアリング	D-7
日本乳化剤株式会社	D-8
日本ミクニヤ株式会社	D-9
株式会社シアノロジー	D-10
東京計器株式会社	D-11
株式会社ノンバーバル	D-12
日本ゼノリス株式会社	D-13
日本工営株式会社	D-14
協成電気株式会社	D-15
綿半ソリューションズ株式会社	D-16
株式会社富士通ゼネラル	D-17
日之出産業株式会社	D-18
DELE株式会社	D-19
株式会社プロメテウス	D-20
大和ハウス工業株式会社	D-21
川崎市ビルメンテナンス業協同組合	D-22
三菱ふそうトラック・バス株式会社	D-23

E ものづくり・AI・IoT技術

川崎ものづくりブランド推進協議会 株式会社川島製作所 株式会社計測技術研究所 有限会社シブヤ 株式会社成光工業 株式会社データープロセスサービス 株式会社トーキンオール 株式会社ナガシマ製作所 株式会社二幸技研 日東亜鉛株式会社 日本スタッドウェルディング株式会社 株式会社マキナエンジニアリング 株式会社ロビーム	E-1
株式会社Jサーキュラーシステム	E-2
協同組合高津工友会（タカツクラフト）	E-3
岡村建興株式会社	E-4
株式会社アイガー産業	E-5
JFEプラントエンジ株式会社	E-6
JFEグループ	E-7
きもと特急電子設計	E-8
ビス株式会社	E-9
株式会社重森産業社	E-10
株式会社Nobest	E-11
株式会社micro-AMS	E-12
BellaDati合同会社	E-13
東横化学株式会社	E-14
TOPPAN株式会社	E-15
栗田工業株式会社	E-16

F 公的機関・支援機関

ＩＮＰＩＴ神奈川県知財総合支援窓口	F-1
アイオワ州経済開発機構（カバードブリッジコンサルティング合同会社）	F-2
一般財団法人日本環境衛生センター	F-3
一般社団法人川崎中小企業診断士会	F-4
非特定営利活動法人産業・環境創造 リエゾンセンター	F-5
専修大学 情報科学研究所	F-6
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 井原研究室	F-7
日本弁理士会関東会	F-8
川崎市地球温暖化防止活動推進センター	F-9
川崎市環境総合研究所	F-10
川崎市環境局脱炭素戦略推進室	F-11
経済産業省 関東経済産業局	F-12
川崎市信用保証協会	F-13
独立行政法人環境再生保全機構	F-14
環境インフラ海外展開プラットフォーム（JPRSI）事務局／一般社団法人海外環境協力センター	F-15
香港貿易発展局	F-16
Green&Healthy 台日ビジネス交流ミッション団	F-17
川崎市海外ビジネス支援センター（KOBS）	F-18
公益財団法人川崎市産業振興財団 川崎市知的財産マッチング事業	F-19
川崎信用金庫	F-20

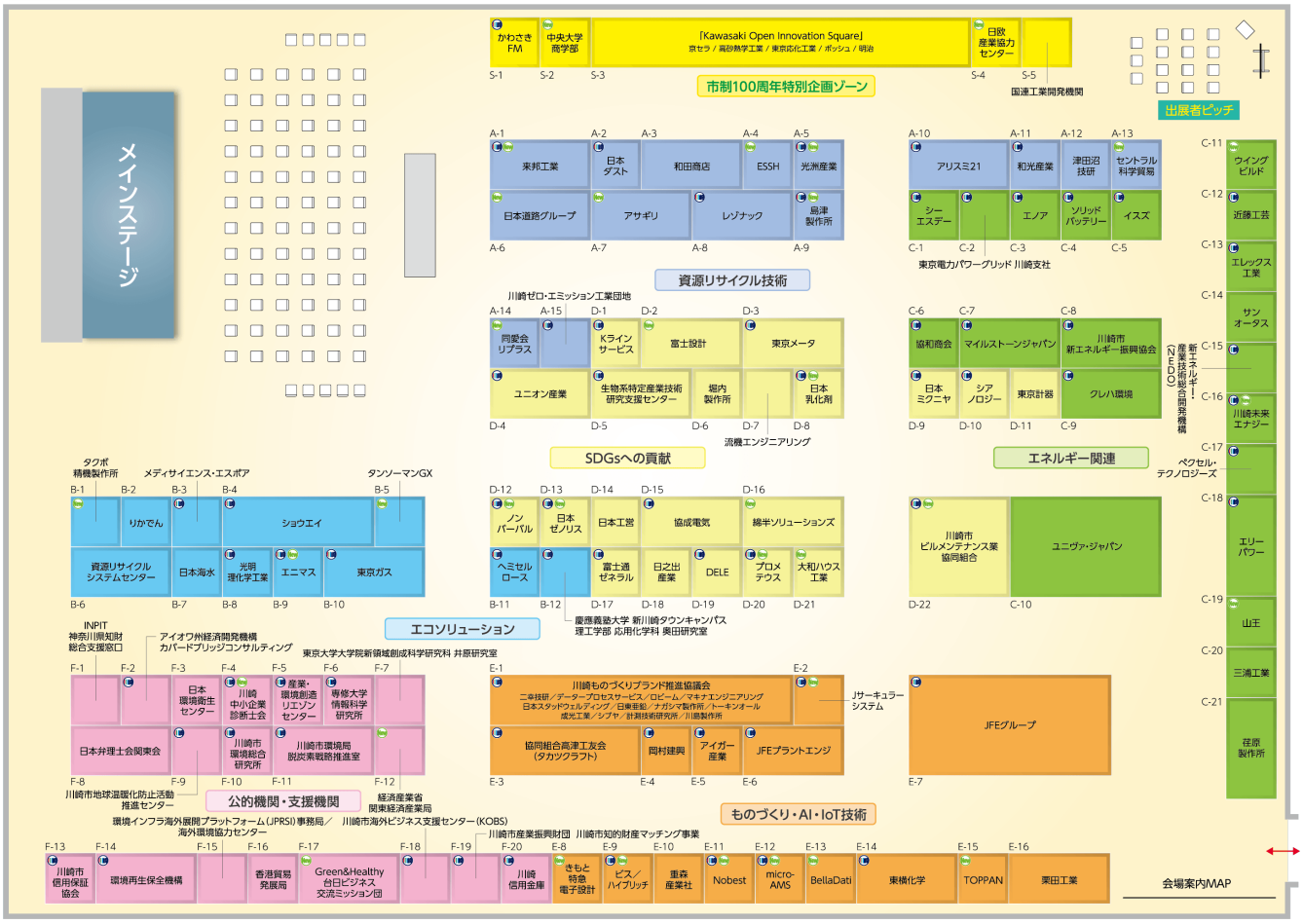
S 市制100周年特別企画ゾーン

かわさきＦＭ	S-1
中央大学 商学部	S-2
Kawasaki Open Innovation Square	S-3
一般財団法人日欧産業協力センター	S-4
国連工業開発機関	S-5

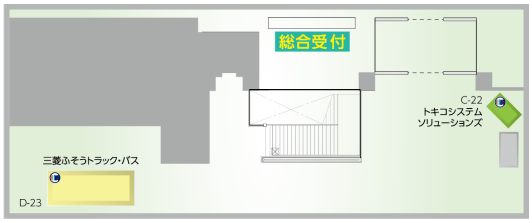
展示会場レイアウト

1F 展示会場

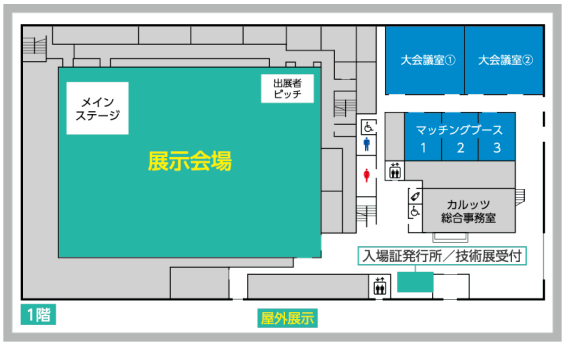
川崎市内企業・団体　New 初出展



屋外展示



全体マップ



飲食販売・割り箸のアップサイクル

2階昼食会場でお弁当を販売しました。また、「Chop Value Japan」と連携し、使用済の割り箸を木材加工品としてアップサイクルするために資源として回収しました

とんかつ和幸

崎陽軒

元祖 ニュータンタンメン本舗

アップサイクル用の 割り箸回収ボックス

割り箸をアップサイクルした 再生品の展示

講演・セミナー

11月13日（水）

第21回川崎国際エコビジネスフォーラム
都市と産業のサステナブルな共生に向けて
-次の100年に向けた川崎とアジアの都市をつなぐグリーン戦略-

（10:30～12:30 大会議室①）

［コーディネーター］
東京大学大学院工学系研究科

［パネリスト］
マレーシア国　ペナン・グリーン・カウンシル
インドネシア国パスンダン大学工学部講師
JFEエンジニアリング株式会社
日本ミクニヤ株式会社
特定非営利活動法人アクト川崎/
　川崎市地球温暖化防止活動推進センター
川崎市環境局環境総合研究所

かわさき知的財産シンポジウムin 川崎国際環境技術展

（14:00～17:00 大会議室②）

川崎市知財マッチング成約事例のご紹介
［スピーカー］
株式会社和興計測
有限会社岩手電機製作所

大企業・ベンチャー企業による
開放特許等の紹介
［スピーカー］
ライオン株式会社／ロート製薬株式会社
株式会社ミツトヨ／ 日本電信電話株式会社
TOMPLA株式会社

Eco-tech Open-innovation Pitch

（14:30～17:00 大会議室①）

「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」のご紹介
［スピーカー］
信光工業株式会社／Fast Space株式会社／テックワン株式会社／株式会社GCEインスティチュート

ビジネスマッチングサイト「J-GoodTech」のご紹介
［スピーカー］
株式会社EVTD研究所／株式会社エム・ゼット／アイ-コンポロジー株式会社

神奈川県の起業・ベンチャー支援の取組について
［スピーカー］
株式会社Ecolooopers／株式会社水と古民家／クールフライヤー株式会社×富士工業株式会社／株式会社Nobest×株式会社サンエー

川崎市市制100周年「協業」特別企画
「Kawasaki Open-innovation Square」のご紹介
［スピーカー］
京セラ株式会社／高砂熱学工業株式会社／ボッシュ株式会社／株式会社明治

台湾中小企業の環境技術力と台日協力の展望

（11:10～11:30 メインステージ）

［講演者］
台湾・経済部中小及新創企業署

11月14日（木）

BCPセミナー
― 自然災害やサイバー攻撃から企業を守るために ―

（10:30～12:00 大会議室②）

［講師］
株式会社コンサラート
フジクス株式会社

市制１００周年『国際』特別企画
ASEAN×EU meet-UP DAY

（10:30～17:00 大会議室①）

1st session: Presentation session
2nd session: Discussion session
3rd session: Matching session

［ゲストスピーカー（ASEAN）］
カンボジア王国　農林水産省
／フィリピン共和国 セブ市 バンタイ・ダガット（沿岸警備隊）

［ゲストスピーカー（EU）］
AC Biode／ALGAESYS S.A.／FACIL'iti／METRON

市制１００周年『若者』特別企画
未来へつながるSDGs ～私たちにできること～

（13:30～16:15 大会議室②）

第１部　SDGsカードゲーム
第２部　学生ピッチ
［登壇者］
川崎市立橘高校／専修大学／中央大学

川崎市脱炭素経営支援コンソーシアム主催セミナー
中小企業の安定的な人材確保のために
－「SDGs・脱炭素」で他社と差をつけよう！ －

（14:50～15:40 メインステージ）

［講師］
独立行政法人中小企業基盤整備機構
川崎市環境局脱炭素戦略推進室

持続可能な都市をつくる
～全国都市緑化かわさきフェアからGREEN×EXPO 2027へ～

（16:00～17:00 メインステージ）

［ファシリテーター］
公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
［パネリスト］
大和ハウス工業株式会社
川崎市建設緑政局緑化フェア推進室

市制100周年記念講演 <11月13日（水）実施分>

市制100周年記念 基調講演 10:20～11:00

The Future of Computing テクノロジーが拓く未来

日本アイ・ビー・エム株式会社
取締役副社長執行役員 最高技術責任者 兼 研究開発担当 **森本 典繁** 氏

<講演内容>
現在までのIT技術の進化の過程についてお話いただき、その過程において、本市が同社の重要な研究開発拠点になっていることがわかりました。
現在のAIの急速な発展と利用拡大について、世界的に計算ハードウェアの需要が高まっており、AI 時代の技術戦略の中では、半導体と量子コンピューターが鍵になるため、各国・企業は各分野への投資を加速させていること、これらのテクノロジーにより世界・社会がどう変わっていくのかについてお話いただきました。
また、次世代 AI チップ、量子コンピューターなど同社の最先端技術も御紹介いただきましたが、そうした技術を支える人材育成の重要性などにも触れられました。

市制100周年記念 特別セミナー① 13:00～14:20

次世代エネルギーが拓く未来のくらし ～エネルギー地産地消の社会に向けて～

【基調講演】

太陽電池の開発動向と産業化の課題

桐蔭横浜大学 特任教授 **宮坂 力** 氏

【パネルディスカッション】

<進行役>

NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）
再生可能エネルギー部長 **山田 宏之** 氏

<パネリスト>

川崎未来エナジー株式会社 代表取締役社長 **井田 淳** 氏

<講演内容>
基調講演では、次世代型太陽電池として注目のペロブスカイト太陽電池の生みの親である宮坂教授から、その特徴と従来電池に対する優位性を解説していただき、薄く曲げられるプラスチックフィルム型モジュールの製造技術の概要や国内、海外における事業化の動向と課題等についてお話いただきました。
パネルディスカッションでは、今後の電力消費の増加に伴い、普及拡大が期待される再生可能エネルギーについて、事業化への課題や域内産業への波及の可能性などについて、それぞれのお立場でご発言いただきました。宮坂教授からは、市民の省エネ意識の醸成による、各家庭などを通じた発電の取組により、再エネの普及につながるといったお話もありました。

市制100周年記念講演 <11月14日（木）実施分>

市制100周年記念　シンポジウム　10:20～11:50

【第1部】基調講演

カーボンニュートラル実現へ　循環型社会をめざして

株式会社NHKエンタープライズ
第１制作センター 社会文化部 エグゼクティブ・プロデューサー　**堅達 京子** 氏

【第2部】シンポジウム

循環型経済をビジネスチャンスに、企業価値を創造する

＜コーディネーター＞
株式会社笑下村塾　代表取締役　**たかまつなな** 氏
＜パネリスト＞
株式会社プランテックス　代表取締役社長　**山田　耕資** 氏
株式会社ヘミセルロース　代表取締役社長　**茄子川　仁** 氏
川崎市長　**福田　紀彦**

＜講演内容＞
　第１部では、この夏の異常な猛暑や豪雨など気候危機の深刻さを踏まえ、温暖化を止めるためには、ビジネス界にも脱炭素革命を起こす必要があること、また、そのカギを握るサーキュラーエコノミーや環境技術が果たす今後の役割について、堅達氏から御講演いただきました。
　第２部では、社会課題の解決とビジネスの両立に関する考え方や各社の社会的意義や今後の展望について、ディスカッションを行いました。持続可能な経営について、山田氏からは、「事業の目的を明確に定め、収益を上げていくことが必要である」、茄子川氏からは「事業を始めた目的を、信念として持ち続けること、そして自社の活動にファンを作ることが大切である」といったお話がありました。福田市長は「都市部での脱炭素を実現し、横展開していくこと、また、臨海部などでの取組により、産業展開していくことが必要である」と発言されました。

市制100周年記念　特別セミナー②　13:00～14:30

川崎のサーキュラーエコノミーを展望する

＜パネリスト＞
川崎市臨海部国際戦略本部　成長戦略推進部長　**大山　啓祐**
メビウスパッケージング株式会社　執行役員　環境統轄　**中町　浩司** 氏
株式会社Jサーキュラーシステム　**中村　佐三** 氏
＜進行役＞
川崎市経済労働局イノベーション推進部長　**田邉　聡**

＜講演内容＞
　始めに、川崎臨海部を中心としたサーキュラーエコノミーに関連する事業について、各パネリストから御紹介いただきました。パネルディスカッションでは、各社の強みとしてた挙げられた様々な主体との連携を踏まえ、本市としては、企業の課題を踏まえた企業同士のマッチングや出会いの場の提供が重要であると発言しました。また、教育などを通じて市民の理解を得ることの必要性についても言及しました。

その他イベント・各種企画

出展者ピッチ

◎ 延べ参加人数 **314名**　◎実施出展者数 **18者**

会期2日間を通じて、展示会場内スペースで計18の出展者によるピッチ（プレゼンテーション）を実施しました。各回の終了後は名刺交換を実施し、マッチングの創出につなげました。

11月13日（水）	
10:30	**天然成分ヘミセルロース活用 バイオプラスチック製品化** 株式会社ヘミセルロース
11:00	**カンボジア・フィリピンへの環境技術の展開** 国連工業開発機関
11:30	**日本乳化剤のご紹介～社会的課題を解決する環境貢献製品～** 日本乳化剤株式会社
13:00	**CAEOSによる電気の「発・畜・消」を自動制御しゼロエミ住宅を実現！** 株式会社Nobest
13:30	**環境インフラ海外展開プラットフォーム（JPRSI）について** 環境インフラ海外展開プラットフォーム事務局 一般社団法人海外環境協力センター
14:00	Green&Healthy 台日ビジネス交流ミッション団 ※来日企業によるプレゼンテーション
15:00	**富士通ゼネラル「身に着けるエアコン」を活用した川崎市の暑熱対策** 株式会社富士通ゼネラル
15:30	**つながる町工場「タカツクラフト」～One for All, All for One～** 協同組合高津工友会（タカツクラフト）
16:00	**環境に配慮した感染性医療廃棄物無害化処理装置のご紹介** 株式会社セントラル科学貿易

11月14日（木）	
10:30	**バイオ循環型サーキュラーエコノミーを推進するアイオワ州紹介** アイオワ州経済開発機構（カバードブリッジコンサルティング合同会社）
11:00	**処理困難物・混合廃棄物処理における脱炭素、SDGsの取り組み** 日本ダスト株式会社
11:30	**環境を守って儲かる、省エネの力** 株式会社エニマス
13:00	**データ利活用の実践！太陽光データとCO2排出量削減効果の可視化編** BellaDati合同会社
13:30	**Made in Kawasaki** **高安全なリチウムイオン電池で環境・エネルギー問題解決に貢献** エリーパワー株式会社
14:00	**マルチ性能　セメント混和剤「Z.E.R.O」～循環型社会への実現にむけて～** 合同会社ESSH
14:30	**カーペットに新しい命を　脱炭素で未来を守る** 川崎市ビルメンテナンス業協同組合
15:00	**シーズ技術を社会実装　中小企業スタートアップへの支援事業** 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
15:30	**ゼロカーボンに向けたマイクログリッド並びに関連技術へのCSDの取り組み** 株式会社シーエスデー

環境出前授業

- 参加企業：　東京ガス株式会社
- 授業テーマ：　燃料電池ってなんだろう？ ～地球温暖化を防ぐためにわたしたちができること～
- 参加学校：　川崎市立殿町小学校5年生　45名

- 環境技術を有する民間企業と連携し、市内小学校5年生を対象に、環境出前授業を実施いたしました。授業後に行われた振り返りの問題では9割以上の生徒が正解し、授業を通して環境に関する知識の定着が図られました。
- 授業後には出展ブースの見学を実施しました。児童が各企業担当者の話を熱心に聞き、積極的に質問をする様子も見られました。

市制100周年「協業」特別企画

Kawasaki Open-innovation Square

“サプライチェーンの中で大手・中堅企業と中小企業が一体となって脱炭素に取り組み、オープンイノベーションを生み出す仕組み”を、川崎国際環境技術展を通して創出するため、オープンイノベーションによる新規事業創出を志す大手企業（ホスト企業）を招致し、共創テーマを掲げることで連携を希望する中小・スタートアップ企業とのマッチングを実施しました。
当日は市外・県外からも多くのスタートアップ企業が参加し、熱分野の課題解決に資する素材の開発や、乳製品の副産物を新たな価値に転換するアイデア等の共創テーマについて活発な意見交換が行われるとともに、特別ブースを設置することで多くの来場者と出会う機会を創出しました。

◎ホスト企業との面談
23件

◎県外からの参加企業
9社
（東京都5社、愛知県、兵庫県、京都府、山形県各1社）

＜協力＞
神奈川県
独立行政法人中小企業基盤整備機構

◆ ご参加いただいたホスト企業・共創テーマ

企業名（五十音順）	共創テーマ
京セラ株式会社	太陽光発電による再生可能エネルギーを活用した、持続可能なエネルギー社会の実現
高砂熱学工業株式会社	グリーン水素社会の実現に向けた、 水電解装置製造パートナー及びマーケティング・販売チャネル支援パートナーの募集
東京応化工業株式会社	半導体分野で培ったナノテクノロジーの活用による、熱課題［省エネ、オーバーヒートの抑制］への取組
ボッシュ株式会社	【～モビリティを飛び出し新たな領域へ～脱炭素社会の実現に向けた取り組みの挑戦】
株式会社明治	・ 乳製品を生産する中で発生する副産物を新たな価値に転換し、環境にやさしい価値共創を実現する ・ 体質や病気により制約のある方でも、食の自由をあきらめない、お客様に寄り添った新しい価値を共創する

特設ブースでの出展

イベントでのご講演

中小・スタートアップ企業とのマッチング

ホスト企業からのメッセージ

✓ 自社の活動内容と製品を知ってもらえる良い機会となりました。環境に力を入れている他県と合同で開催してもおもしろいと思いました（ボッシュ株式会社 様）

✓ 川崎市として注力したいという意気込み・熱意等がしっかり伝わりました。その分周知・集客という面では改善できるポイントかと思いました(京セラ株式会社様)

参加企業（中小・スタートアップ企業）からのメッセージ

✓ 高砂熱学工業様京セラ様とマッチングして頂き、弊社の急速充電技術/整流器技術と組み合わせたビジネスモデルの検討の機会となりました（東京整流器株式会社 様）

✓ ボッシュ様とのマッチングの機会を頂き感謝しています。別日の打合せを通して今後の展開も視野に入れる機会となりました。（BIOTECHWORKS-H2様）

市制100周年「若者」特別企画①

未来へつながるSDGs～私たちにできること～

本イベントは、「学生と中小企業が交流を図り、中小企業の優れた技術を発信する機会の創出」と「企業のＳＤＧｓへの取組意欲の醸成」のため、SDGｓをテーマに学生と企業が一体となり交流する場として実施しました。
当日は、学生と企業が自由に交流しながらSDGｓについて共に考え、持続可能な社会の実現のため私たちにできることは何かを見つめ直す機会となりました。

◎イベント参加人数
80名

◎本企画に関わった学生の数
30名（６校）
（専修大学、中央大学、川崎市立橘高校、横浜市立大学など）

◆ 当日のプログラム（11月14日(木) 13：30～16：15）

第一部 **SDGｓカードゲーム**
「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」「それがあることによってどのような変化や可能性があるのか」を体感し、理解することができるゲームです。SDGs経営を目指す市内企業と学生がチームを組んで実施しました。

参加学生のコメント
- 体験したことのないタイプのゲームで新鮮だった。
- 詳しい解説ではなく、体験を通して自分がSDGsの達成に貢献できることを実感できた。
- 普段SDGsについて触れることがあまりなかったので、貴重な経験になった。 今回ほんの少しでも触れる事ができたのでSDGsを意識して過ごそうと思った。

参加企業のコメント
- 学生のみなさんの新鮮な考えを聞くことができた。
- これまで、知識としてSDGsを覚えようとしてきて、なかなか身につかなかったが、ゲームを通して体験することで本質を理解する事ができて良かった。

第二部 **学生ピッチ**
「身近なSDGsに関する取り組み」をテーマに高校生や大学生の団体計4組が自身の活動についてコンテスト形式で発表するイベントを実施しました。当日会場にてピッチを御覧いただいた皆様から最も心に響いた学生団体に投票いただき、表彰式を行いました。

学校名	発表テーマ
川崎市立橘高校	「市環境局・企業と連携した『かわさきプラスチック循環プロジェクト』への取組」
中央大学（商学部）	「中央大学SDGsアクションプランアワードの参加学生による取組①（コンタクト空ケースの回収とリサイクル）」
専修大学【市長賞】	「東京メータ株式会社でのインターン活動による取組」
中央大学（国際経営学部）【オーディエンス賞】	「中央大学SDGsアクションプランアワードの参加学生による取組②（学生と地域、行政が連携して運営する「運動×食」の場の提供）」

学生と企業参加者がグループになり、カードゲームを実施

ゲームを振り返るためのワークシートを記入する様子

司会進行をする運営学生

表彰式（市長賞）の様子

学生ピッチ登壇者と参加者の集合写真

◆ 学生の活動

運営学生からのメッセージ
- 今回の経験を通して、川崎市全体で様々な環境問題の解決に向けて取り組んでいることを知り、これからの未来について考えるきっかけになった。参加者に環境問題の現状を知ってもらえるようにチームメンバー一丸となって企画を考え、徐々に形にしていくのが楽しかった。
- 川崎市は産業都市として、ものづくりを重視している印象だったが、SDGs達成への取組など環境への配慮を一層重視する新たな一面を発見した。運営では、報・連・相の徹底や人材に応じた役割分担などにより、入念な準備が不可欠であることを認識する機会となった。

（運営準備の様子）

ワークショップで企画を検討

出展企業を訪問

運営Tシャツを着用し、当日イベントチラシを配布

（学生による広報活動）

かわさきFMにて若者企画を発信

学生が運営するSNSアカウント

学生が作成したチラシ

市制100周年「若者」特別企画②

学生と連携した、出展者の技術や製品などの魅力を紹介する特集紙面の発行

出展者のうち、注目の出展企業として、主に市内企業を中心に、合計10社の取材を行い、その製品や企業の魅力などを記事にまとめました。取材にあたり、専修大学文学部ジャーナリズム学科山田健太教授（ゼミ生）と連携し、学生が企業取材に同行、取材を通して感じた企業の魅力などをコメントとしてまとめるなど、各企業を紹介しました（最終ページでは、学生が紙面の企画・校正等も行いました）。

完成した紙面（下画像）は会期中、展示会場入口で配布し、出展者のPRに活用しました。

◆ 取材出展企業・記事タイトル

企業名	タイトル
ペクセル・テクノロジーズ株式会社	国内初、ペロブスカイト太陽電池販売
川崎未来エナジー株式会社	電力の地産地消へ新会社が始動
株式会社島津製作所	最先端のラボ空間整備
東京メータ株式会社	空気圧の省エネ、計測器でコンサル
日本乳化剤株式会社	セルロース溶かすイオン液体開発

企業名	タイトル
株式会社ノンバーバル	「もったいない」をかんきつアロマに
株式会社プロメテウス	木質バイオマスから温風発生
株式会社ヘミセルロース	多糖類からバイオプラスチック開発
株式会社光洲産業	産業廃棄物から製鋼副資材を再生
合同会社ESSH	廃棄物をセメント固化する液体

東京メータ社での取材風景

ヘミセルロース社での取材風景

集合写真（川崎未来エナジー社取材時）

専修大学文学部ジャーナリズム学科山田健太教授からのメッセージ（取材を通して）

川崎ブランドといった言葉で丸めてしまうと逆にもったいない、技術や知恵の結晶が、これほどまでにすぐそばにあることを知り、改めてモノづくりの醍醐味と面白さを感じた取材だった。多くの訪問先で発見できたのは、先を見る目、踏み出す勇気、そして常識を疑うという姿勢だ。陳腐な言い方になってしまうが、お会いした誰もが輝いていてエネルギーに満ち溢れていた。

しかもこれまた共通していたのは、コスト意識だ。環境にいい、だけではダメで、いかに低コストでみんなが利用できることで、はじめて社会が変わり世界が変わるという強い意志がひしひしと伝わってきた。また、周りはずっと抵抗勢力という言葉も何人かの口から出た言葉だった。そこで諦めるのではなく、障壁をモチベーションに変えて前進することの大切さも学ぶことができた。

それは、お邪魔させていただいた学生の日常、そしてこれからの人生を考えるうえで、大きな励みになることだろう。よく言われることではあるが、当たり前の見方を疑い、仲間を作り、そして目の前の現実を少しでも動かしていくことは、いつの時代、どんな局面においても言えることだろう。暑い夏、10社の皆さんの熱い言葉に触れ、貴重で有意義な経験をさせていただいたことに感謝したい。

市制100周年「国際」特別企画

ASEAN×EU meet-UP DAY

国際環境技術展の参加者に対して従来にない形での海外関係者とのマッチングを創出するため、日本の技術に関心のあるASEAN諸国の政府機関関係者と、ASEAN進出経験があり、出展者・来場者に対して知見を提供することができる欧州の関係企業を展示会に招致し、講演、ツアー等の実施を通じて参加者の海外展開を支援しました。

会期2日目の11月14日（木）には招致ゲストによる自国のニーズに関するご講演や、日本企業とパートナーを結ぶ上でのポイント、環境市場への考え方等についてディスカッションを行いました。その後行われたマッチングでは来場企業の有するソリューションのASEANの実装や、出展企業とEU企業の技術のパッケージ化等、今後の展開につながることが期待される多くの出会いが生まれました。

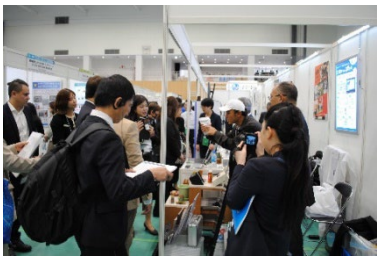
◎ ゲストとのマッチング
32件

◎ 企画参加者
34名

＜協力＞
国連工業開発機関（UNIDO）
日欧産業協力センター（EUJC）

◆ ご参加いただいたゲスト（ASEAN政府関係者・EU企業）

国名・企業名	所属・役職	氏名
カンボジア王国	農林水産省　次官	パクサマイ・スニット 氏
フィリピン共和国　セブ市環境天然資源局	バンタイ・ダガット プログラム・ディレクター	エド・カーロン・ラマ 氏
AC Biode（ルクセンブルク）	代表取締役社長	久保 直嗣 氏
ALGAESYS S.A.（ポルトガル）	共同創業者兼事業開発ディレクター	ランダー・ジェームズ 氏
FACIL'iti（フランス）	カントリーマネージャー	長井 早和子 氏
METRON（フランス）	ゼネラルマネージャー兼アジア営業部長	ルソニエ・ケビン 氏


出展者ブースツアー

ゲストによるご講演

希望者とのマッチング

ゲストからのメッセージ（会期１日目　ビジネス交流会において）

▶カンボジア王国　パクサマイ・スニット 氏

本日のイベントで多くの方々とお話しできたことを嬉しく思っております。皆さまとビジネスマッチングを通じて有意義な話し合いができ、実りある協力が生まれることを心より願っております。

カンボジアについてもっと知っていただけることを楽しみにしています。

▶フィリピン共和国　エド・カーロン・ラマ 氏

本日の展示会では、多くの方々との交流を通じて、セブ市に役立つ多くのアイデアや技術に触れることができました。皆さまとのビジネスマッチングで素晴らしい話し合いが生まれたことを願っております。

もし、フィリピンやセブ市に関することや、私たちの環境保護の取り組みにご興味がありましたら、どうぞお気軽にお声がけください。

国際関連企画

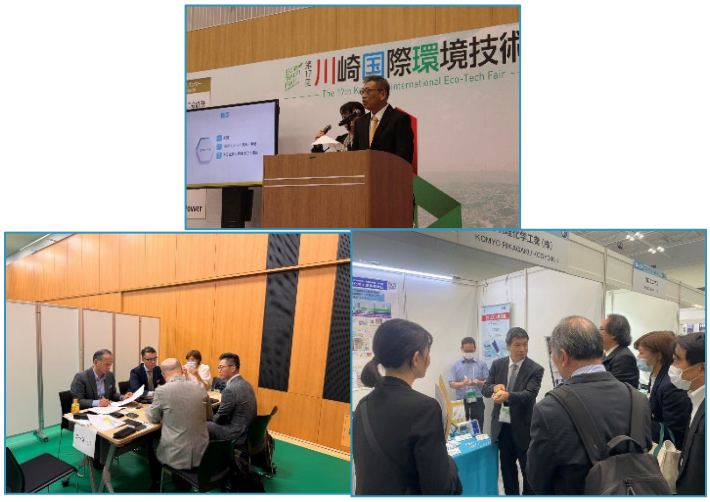
JICAツアー（研修員向け出展ブースツアー）

11月14日（木）
国際協力機構（JICA）のプログラムにより本邦大学院留学中の研修員を招へいして出展ブースツアーを実施しました。
また、出展者との交流を深めるため研修員の研究内容のポスターセッションやプレゼンテーションも初めて実施しました。

◎参加研修員数　**14名（12ヵ国　ボリビア、カメルーン、セネガル等）**

台湾経済部中小及新創企業署ミッション団の誘致

11月13日（水）
台湾政府経済部から事業を受託する財団法人工業技術研究院（ITRI）の支援する企業と川崎市内企業等出展者・来場者のマッチングを目的として、ミッション団の誘致を実施しました。
当日は台湾経済部中小及新創企業署を代表し謝 主任秘書による講演を行ったほか、台湾企業によるプレゼンテーションや出展者ブースツアー、川崎市海外ビジネス支援センター（KOBS）のサポートによるビジネスマッチングを実施しました。



◎参加企業数　**9社**

◎マッチング件数　**14件**

参加者へのインタビュー　▶財団法人工業技術研究院（ITRI）　李 湘平 氏

■今回展示会に参加した理由を教えてください

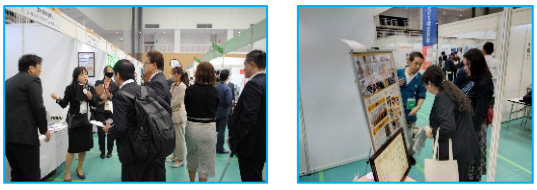
➢ 台湾も今回の展示会のテーマと同様、脱炭素やカーボンニュートラルや環境技術を重視しているので、出展することで、日本の技術を知ったり、理解を深めたり交流をしたいと考えていました。

■参加した感想を教えてください

➢ 日本と台湾は相性がいいと感じました。日本はハードウェアや技術力があります。また、研究開発に力を入れています。そして、日本の企業にはブランド力があります。一方、台湾はマーケットや顧客に対する柔軟性があり、ICTやAI、IOTに強みがあります。このお互いの強みを持って、補完的に提携することができると感じました。

川崎市職員「グローバルサポーター」の活用

川崎市では、外国語が話せる市職員を「グローバルサポーター」として登録し、川崎市が実施する国際関連イベント等における関係者のサポートを通じて、グローバル人材の能力向上を目指しています。今回の国際環境技術展では、7名の英語・台湾語のサポーターが展示会内の各企画で活動を実施しました。



ビジネスマッチングの成果

会期2日間を通じたビジネスマッチング（※1）

（※1）出展者アンケート（延べ数）、その他特別企画実施結果の合計
（※2）名刺交換枚数のうち、今後の商談につながる可能性のある数

■ ブース訪問者数
7525名

■ 名刺交換枚数
5314枚

■ ビジネスマッチング数（※2）
805件

■ 面談実施件数
320件

■ 商談成立数
91件

前回同指標（20件）から大幅に増加！

ビジネスマッチング好事例ピックアップ

■ Case１　出展者(大手企業)×来場者

● TOPPAN株式会社
計測器の数値計測・遠隔監視によって設備の点検業務の改善を実現するDXソリューションを必要とする企業とのマッチング希望。

×

● A社（製造業）
研究開発部門で計測器のデータを見える化できるソリューションの導入を検討していた。

➡

➢ ニーズが一致したため会期後の2月からDXソリューションによる遠隔操作での見える化に関するPOC(概念実証実験）を予定。

■ Case２　出展者(中小企業)×来場者

● 株式会社micro-AMS
特殊な樹脂成形技術を有しており、成形で課題をお持ちの企業とのマッチングを希望していた。

×

● テラサイクルジャパン合同会社
既存加工方法では成形が難しいリサイクル樹脂での成形ができる企業を探していた。

➡

➢ micro-AMSのマイクロ波成形がテラサイクルジャパン社のニーズと一致したため、本格的な協議を開始（継続して定期に打合せを実施中

■ Case３　出展者(中小企業)×出展者(中小企業)

● 株式会社ノンバーバル
地域活動に精力的に携わり、アロマ事業を中心に五感を使った体験型コンテンツを提供している。

×

● 東京メータ株式会社
SDGsを学ぶツール（スマートシティシステム）による体験型の教育を行っており、体験教育の場の拡大を模索している。

➡

➢ 体験型教育コンテンツの提供という面で一致
➢ SDGsに関連した教育イベント等の情報交換を実施

会期の前後を含めた出展者へのフォロー

出展者と来場者、出展者同士のビジネスマッチングを契機としたより多くの新事業や、受発注の機会を創出するため、会期中に限らず会期の前後を含めた出展者へのフォローを実施しています。

会期前
✓ 出展者へのヒアリング
✓ マッチング相手となる来場者の誘致

➡

会期中
✓ マッチングブースでの同席、面談摘録作成等出展者へのフォロー

➡

会期後
✓ 好マッチング等の事業化に向けたフォローアップ

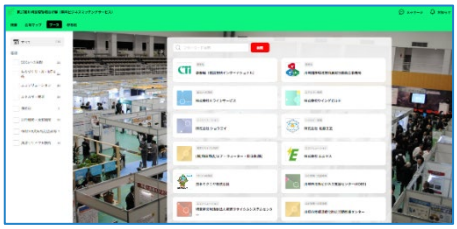
出展者へのサポート

会期前　マッチングシステム（EventHub）の利用

開催に先立ち、事前に出展者と来場者、出展者同士がオンライン上でコミュニケーションをとれるマッチングシステム（EventHub）を活用し、関心のある方同士でのやり取りや、会期当日の面談予約を行いました。

◎ 会期前交流件数　**76組（374件）**

◎ 会期前面談成立件数　**40件**



会期前　出展者リーフレットの作成

●ホームページに掲載する出展者の展示製品・サービスに関する情報、マッチング希望等について、来場者が一覧で情報取得ができるよう内容をまとめた出展者リーフレットを作成しました。
●作成したリーフレットはVIP来場者に印刷して配布するとともに、英語版のリーフレットを作成することで海外関係者を含めたフォローアップ（出展者とのマッチングの促進）を実施しました。

会期中　マッチングブースの利用

展示会場内の出展ブースとは別に、関心のある方同士での商談や、協業に向けた面談のできるマッチングブースを設置し、事前にマッチングシステムで予約した面談や、当日来場された方との面談等、多くの活発な交流が実施されました。

◎ マッチングブースでの面談実施件数 **77件**

会期中　ビジネス交流会

出展者同士、及び出展者と海外関係者や特別企画参加者との交流促進を目的として、
会期１日目11月13日（水）夜に飲食を交えた交流会（ビジネス交流会）を開催しました。

◎ 参加人数　**180名**

◎参加企業・団体数　**76者**

出展者インタビュー

大和ハウス工業株式会社
農業事業推進室課長　戸田 裕之　様

■ 今回、展示会に参加した理由を教えてください。

➢ 今回初めてです。我々の会社は、川崎市や市内での仕事をさせていただいており、いろいろなご縁もあります。今回、展示会があると聞いて出展することにしました。当社に市の職員が来られた時、植物工場の展示エリアをみて興味深いと言っていただいたことも出展の理由のひとつだったと思います。

■ 参加した感想、もしくは今後に期待することはありますか。

➢ これまでは農業系や食品系の展示会に出てきました。模型なども出しながらやってきたので、勝手が違うことや、展示会に来る皆さんの目的とこの植物工場を考えると、これまでとは感触が違うと感じています。我々は本業が建設業なので、植物工場の運営が事業の主ではありませんが、環境技術という点においては、陸上養殖なども含めた食料、食品に絡むような設備も、SDGsの視点で継続する事業としてPRできることもあります。そういったことに関心のある方がいれば、と思います。

中央大学　商学部（ソーシャル・アントレプレナーシップ・プログラム）
ヒノキ班・羽畑海哉　様

■ 川崎国際環境技術展への出展は初めてですか。

➢ はい。こういう展示会は初めてです。これまでは、マルシェのような販売する場所、展示会ではエシカルエキスポというものに出展したことがある程度です。我々の取り組みはきらぼし銀行と連携してやっていて、その関係で展示会があることを知り、出展することになりました。

■ 出展の感想を聞かせてください。

➢ いつもの販売がメインのイベントと違って、展示会ならではの難しさがありました。我々の活動の背景であったり、商品が作られたストーリーなど、詳細な部分までお伝えする必要がありました。多くのメンバーが詳細理解をする必要があったという意味で、良い機会になりました。

■ こういう活動を手掛けて学びは何かありますか。

➢ はい。勉強になっていると感じます。私たちは、商品を考えるところから販売するところまで一貫して自分たちでやっています。今回の展示会出展もその活動の一つです。ものを作るにしても販売するにしても、こういう展示会に出るにしても、さまざまな人と連携してやっていかなければならないし、細かいところまで考えなければいけない。学生ですが、しっかり社会人の気持ちをもって活動していかなければならないという点は、とても勉強になります。

出展者インタビュー

日本乳化剤株式会社
技術研究本部研究推進部主任　青柳 博樹　様

■ 出展の理由やきっかけがあれば教えてください。

➢ 川崎市でこういった展示会をやっているというのは知っていたんですが、なかなか出展する機会がありませんでした。今回、市制100周年というところで、川崎市に拠点を構える企業として、自社や自社製品を広く知っていただき、展示会をきっかけに知り合った他出展者、来場者、行政の皆さまとの交流、協創を通じ街の発展に寄与できる機会になればと考え、出展致しました。

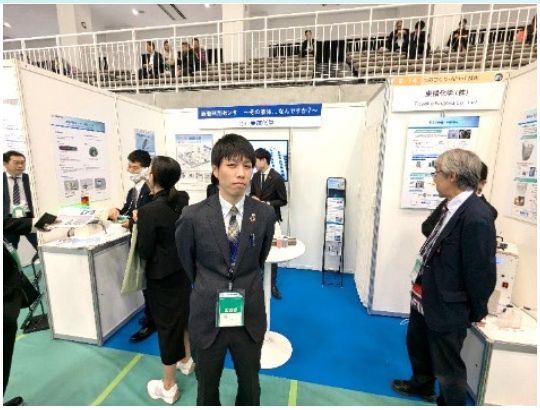
■ 来場者の反応や感触はどうですか。

➢ やはり弊社の名前を知らないという方が多いと感じました。ブースには多く来ていただいているので、これをきっかけに弊社の取り組みを知ってもらいたいと考えています。弊社が環境にどのように貢献しているのか、化学メーカーが社会にどういう貢献をしているのかというところを知っていただく非常にいい機会になったとも思いました。

■ 今後、川崎国際環境技術展に期待することはありますか。

➢ 展示会をきっかけに、交流会などの出展企業同士をつなげる取組みやビジネスマッチングを、もっと活用できるようにしていただけたらと思います。

東横化学株式会社
事業開発室技術開発チーム主任　岩﨑　義樹　様



■ 今回、展示会に参加した理由を教えてください。

➢ 本社が川崎市中原区にあり、産業用ガスの販売を中心として、ガス関連機器設備のエンジニアリング、ガスに関するトータルサービスで全国展開しております。川崎市様とはSDGs関連、海外企業とのビジネスマッチング等でお付き合いさせて頂いており、そのご縁で昨年本展示会へお誘いをいただき今回で2回目の出展となりました。

■ 出展の感想を聞かせてください。

➢ 弊社の事業や製品をひろく知って頂くことができ、同じ地域の企業様や出展者同士で交流をはかることができました。また、川崎市様の取り組みや今後の事業に対しての理解も深めることができました。

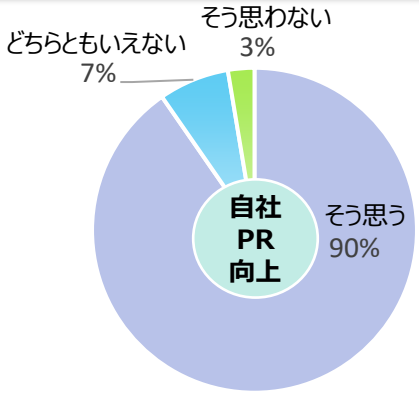
■ 展示会に期待することはどんなことですか。

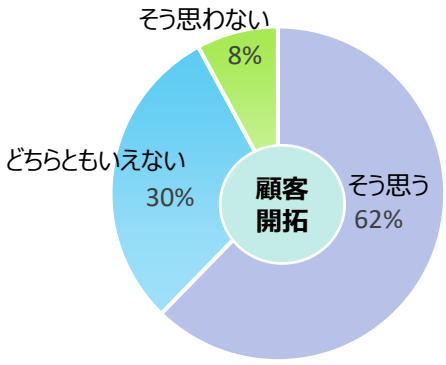
➢ 弊社の商品・サービスをご来場いただいた方々の課題解決に繋げていくビジネスマッチングの場として、また、お客様からいただくご意見やニーズを新しいビジネスとして拡げていくための場として期待しています。

出展者アンケート

アンケート取得数は **114 件**、全出展者（123者）の約 92.7%
アンケート実施期間：令和6年11月18日～12月27日

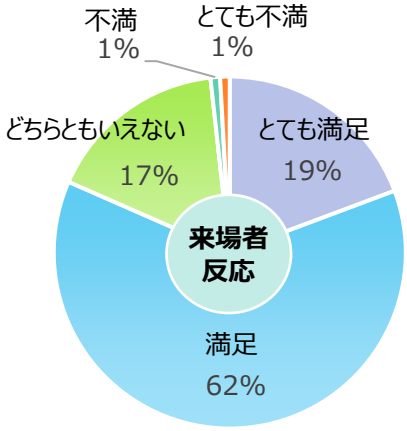
出展を通じた効果

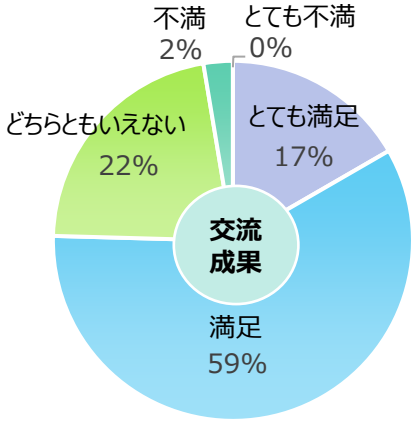


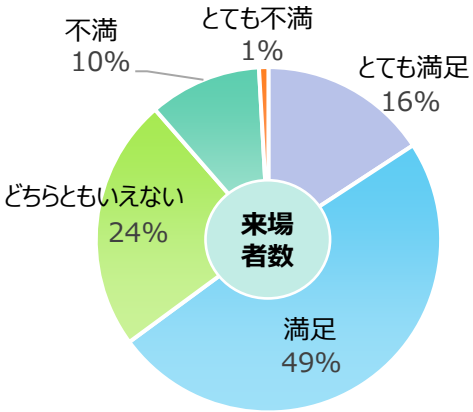


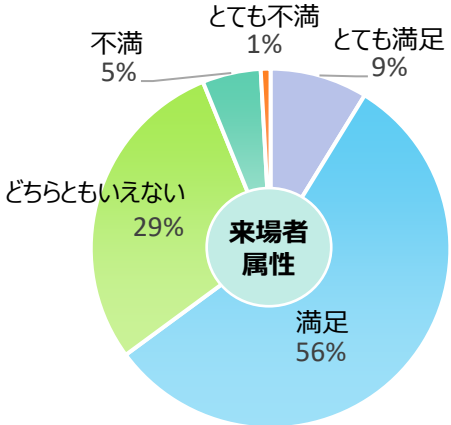
特に、自社PRの向上について90%以上の出展者が効果を感じており、
顧客開拓（前回：そう思う52%）については前回より効果を感じる割合が10%以上向上しています。

出展を通じた満足度







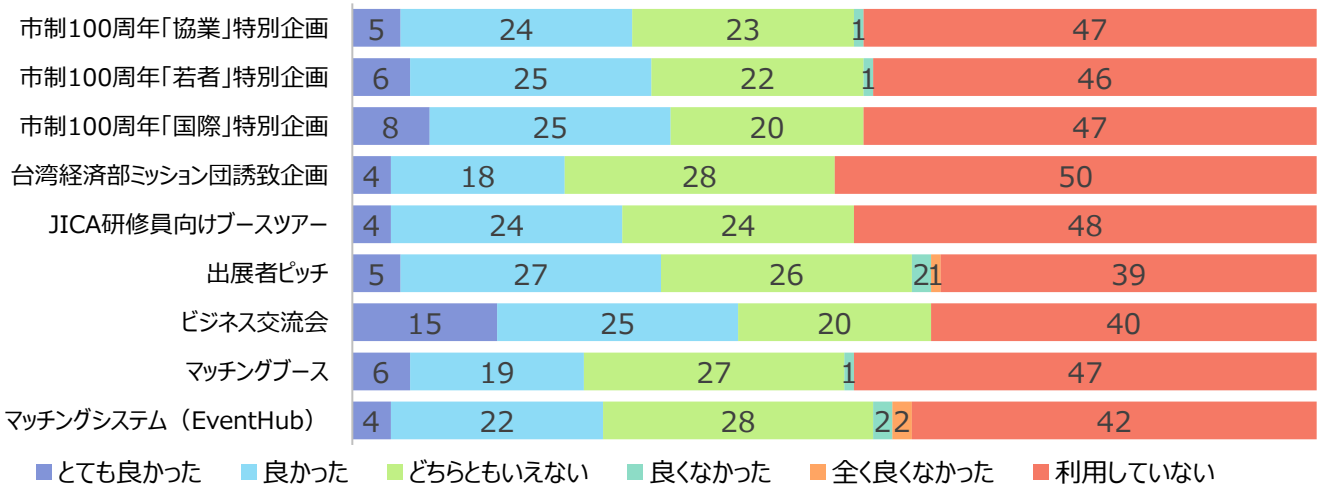


特に、来場者の反応や交流の成果についておおよそ80%の出展者が満足しており、
全ての項目について、前回より「とても満足」「満足」の割合が向上しています。

出展者アンケート

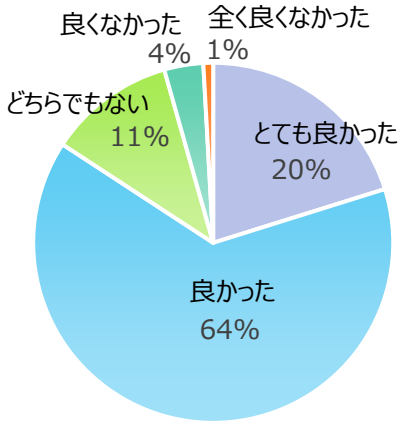
ビジネスマッチングツールに対する印象

（複数選択、%）



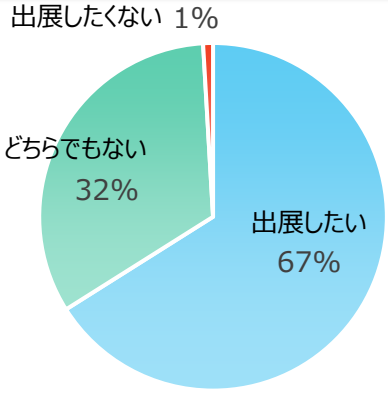
今回実施したビジネスマッチングツールの中では、特にビジネス交流会（P18）や、
市制100周年特別企画（P12～15）について「とても良かった」「良かった」の割合が高くなっています。

総合的な評価



「とても良かった」「良かった」の割合について、84%となり、
前回（75%）から約10%向上し、近年高い評価を
維持しています。

次回の出展意向



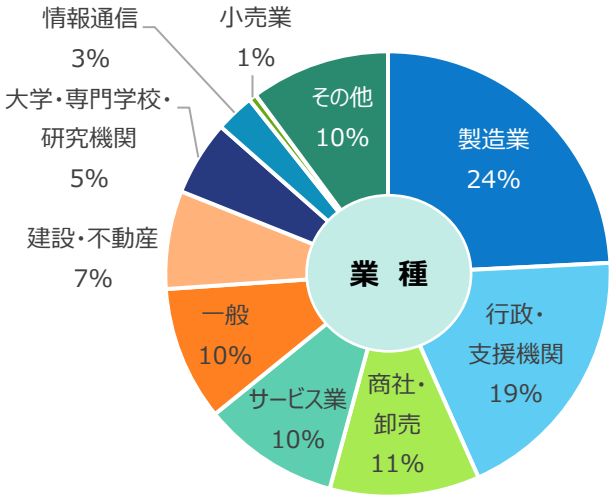
前回の出展者アンケート実施時（出展したい：49%）
に比べ、より多くの出展者から次回の出展希望をいただいて
います。

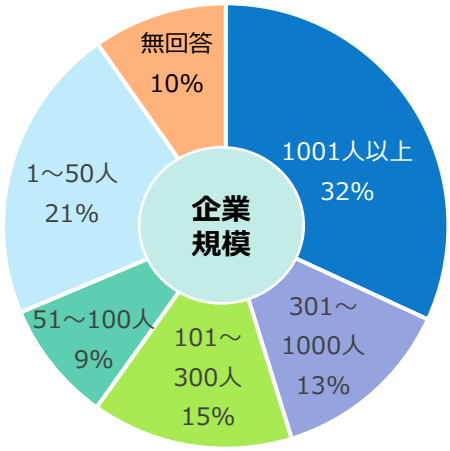
来場者アンケート

アンケート取得数は **533 件**、全参加者（5,050人）の約 10.6 %
- 本技術展開催中（11月13日～14日）のアンケート取得数は **316 件**
- 会期後（11月15日～27日）のアンケート取得件数は **217 件**、内 191 件（88%）はPCからの入力

①来場者の属性

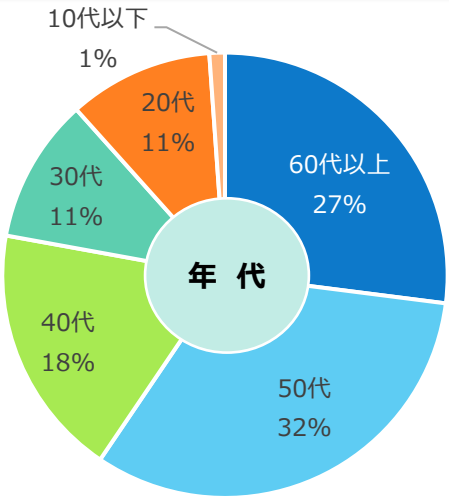
業種と企業規模

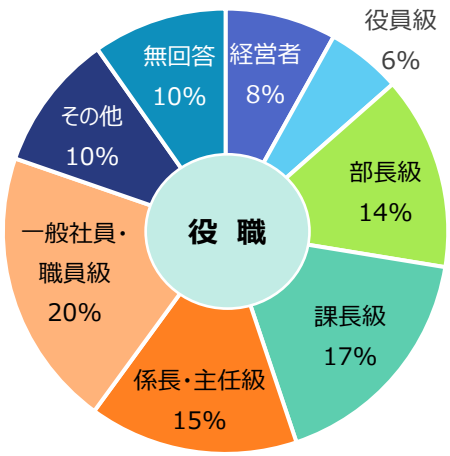




業種では、製造業の来場が最も多く、
企業規模では従業員数300人以上の企業に属する来場者が約半数を占めています。

年代と役職



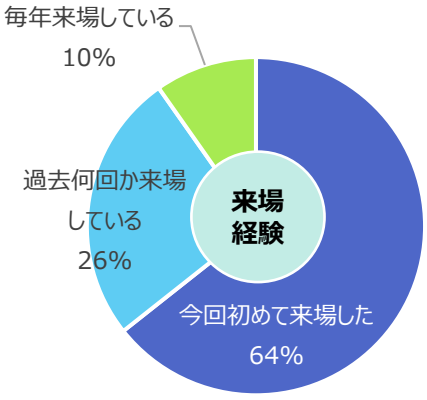


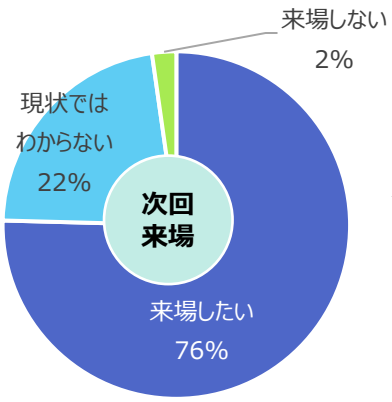
年代では50代以上が最も多く、10代・20代の来場も増加傾向にあります。
役職では課長級以上の来場が多い傾向となっています。

来場者アンケート

②来場者の動向

来場回数と次回の来場意向

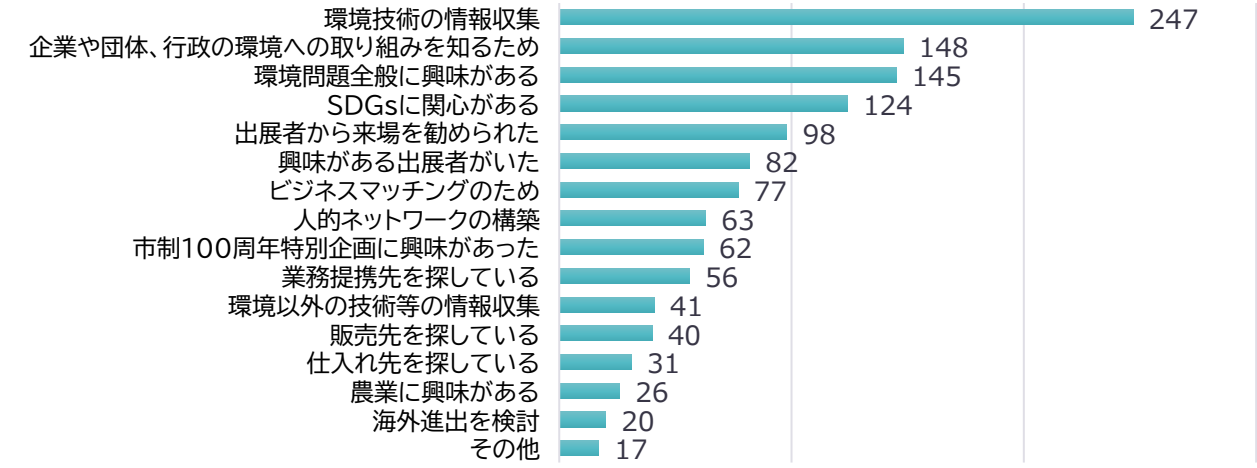




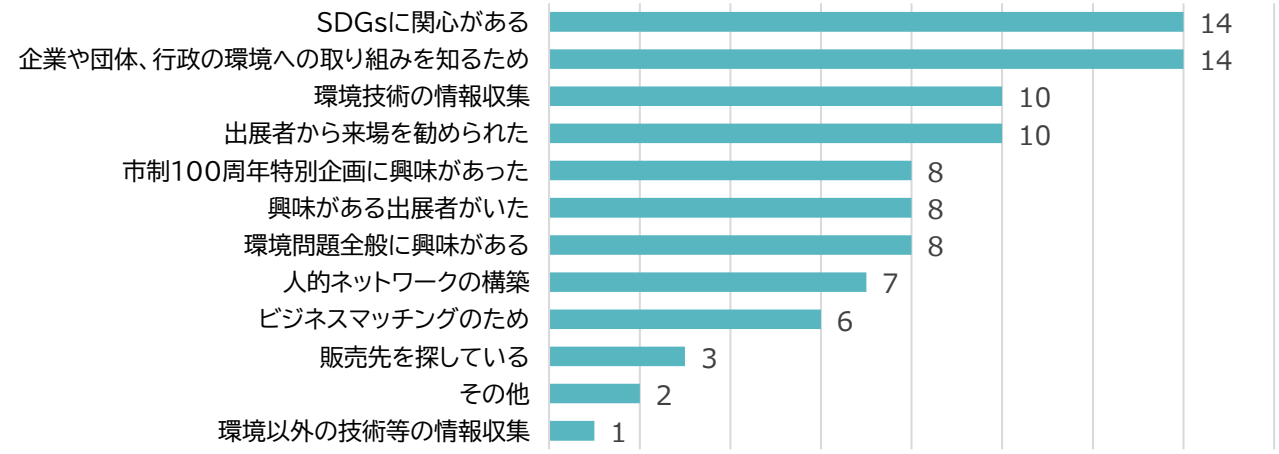
来場者のうち、64%が今回初めて来場されました。また、76%が次回の来場を希望しています。

来場目的

<全来場者集計　※複数選択>



<20代以下の来場者集計　※複数選択>

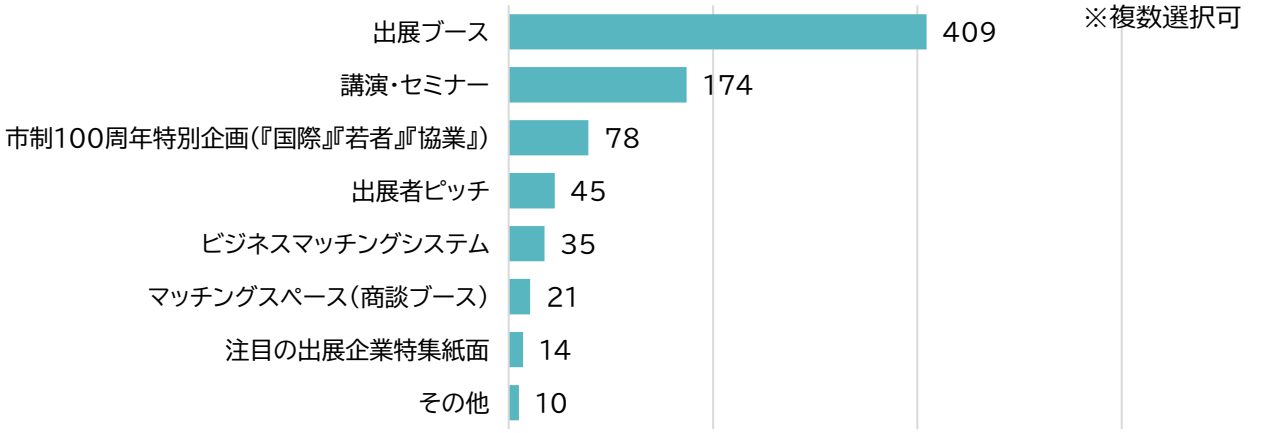


来場目的について、全来場者では「環境技術の情報収集」が最も多い一方、20代以下の来場者に限ると「SDGsへの関心」や「企業や団体、行政の環境への取り組みを知るため」など、様々な目的を有している傾向が伺えます。

来場者アンケート

魅力的だと感じたコンテンツ

※複数選択可

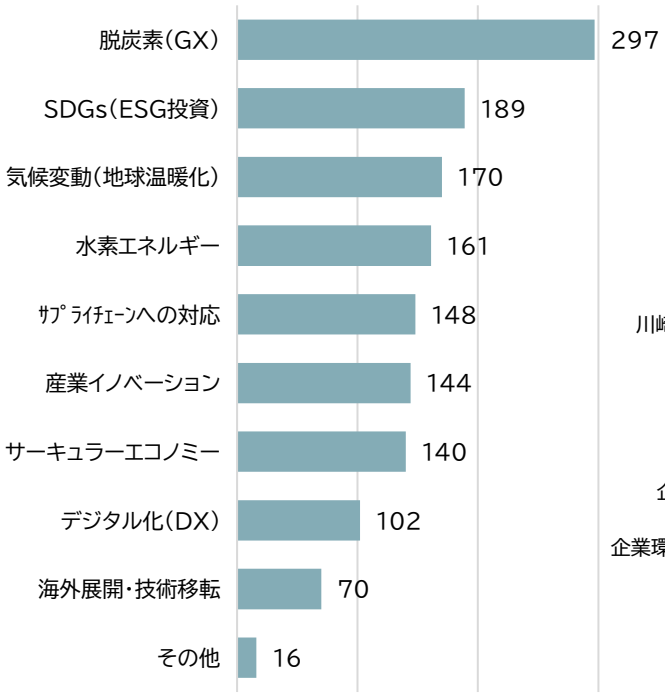


全回答者（533名）の内、およそ80%に当たる409名が出展ブースに対して魅力的だったと感じています。

③次回の開催に向けて

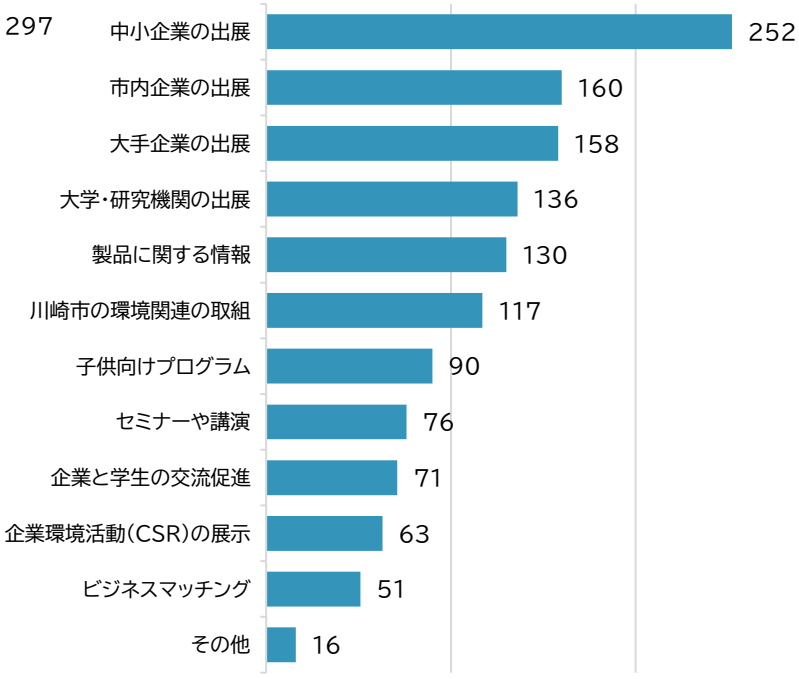
期待する次回テーマ

※複数選択可



今後充実してほしい内容

※複数選択可



次回のテーマについて、包括的な分野である脱炭素（GX）を中心に、様々な分野への期待をいただいています。
また、今後充実してほしい内容として出展者（特に中小企業）に関する回答が多い傾向となっています。

出展者・来場者の声

異業種の新しい技術がとても新鮮で勉強になります。
一般の方にも自社の製品を認知させる事ができ、
今後の展開に期待がもてました。

想定していたよりも多くの来場者が来られ、
大手企業であっても中小・スタートアップの技術に興味を持っていただけました。
川崎市には**新しい技術に興味を持つ企業が多い**のだと感じました。

SDG s に取り組んでいる企業が
年々増えていると感じました。

出展企業同士のコミュニケーションが
とても多く、良い雰囲気の展示会でした。

一般の来場者向けにアピールできる
コンテンツをもっと充実してほしいです。

海外からの来場者にむけた**英語情報の資料**を
充実してほしいです。

他の地域からの来場者がもっと増えてほしいです。

新素材などの情報収集ができました。
パネルディスカッションの内容で、**環境問題への興味を持ちました。**

お弁当販売などもあり、
来場者に優しい対応やキレイな環境でとても良かったです。

どの展示も**環境問題に真摯に向き合っている**のが好印象でした。

見たことない企業に多く出会うことができ、非常に興味深かったです。

実際に手に取れるような**製品の展示**が
もっと増えてほしいです。

より多くの**川崎に立地する大手企業**
に参加してほしいです。

広報活動

メールマガジンの配信

実行委員会参加機関によるメールマガジンの配信
（川崎商工会議所／川崎市産業振興財団／経済産業省 関東経済産業局　等）
川崎市関連組織によるメールマガジンの配信
（総務企画局／経済労働局／環境局／臨海部国際戦略本部／上下水道局　等）
他自治体・関連組織等によるメールマガジンの配信

新聞広告

日刊工業新聞
（7月12日掲載）5段
（9月27日掲載）5段1/2
（11月15日掲載）5段1/2

タウンニュース川崎区・幸区版／中原区版
11月1日掲載

記事掲載

読売新聞
（11月14日掲載）
神奈川新聞　みんなの広場
（11月8日掲載）
日刊工業新聞
（11月29日掲載）
ガスエネルギー新聞
（12月2日掲載）
タウンニュース　川崎区・幸区版／中原区版
（10月4日掲載）技術展の紹介
（11月1日掲載）若者企画の紹介
（11月29日掲載）出展企業の紹介

タウンニュース川崎区・幸区版
11月29日掲載

神奈川新聞 みんなの広場
11月8日掲載

ガスエネルギー新聞
12月2日掲載

広報活動

会報誌への掲載

市政だより：6月号・10月号
産業情報かわさき（川崎市産業振興財団機関誌）
：7月号・10月号・11月号
環境情報：6月号・11月号
かわさき労働情報：7月号・11月号
かいぎしょ（川崎商工会議所機関誌）：11月号

産業情報かわさき7月号

市政だより6月号

市政だより10月号

産業情報かわさき11月号

かいぎしょ11月号

周辺施設におけるデジタルサイネージの活用

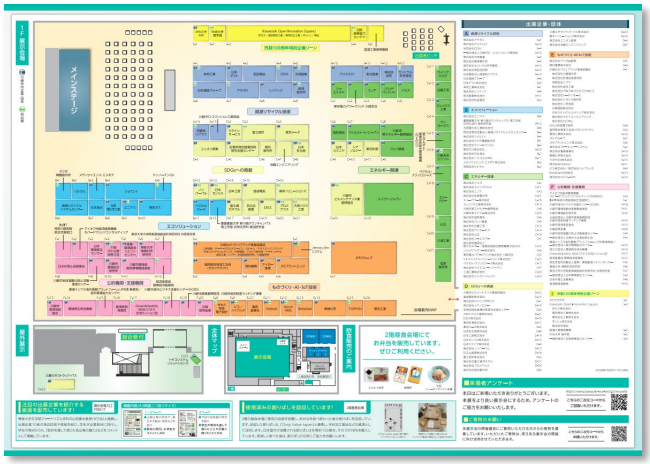
アゼリアビジョン
河川情報表示版
川崎駅周辺広告塔
川崎市役所本庁舎
かわさききたテラス
幸区役所窓口モニター

各種制作物

案内用チラシ（A4）

出展者募集リーフレット（A4×4ページ）

会場マップ（B3 4つ折り）



各種制作物

プロモーション動画

ホームページ

TOPページ

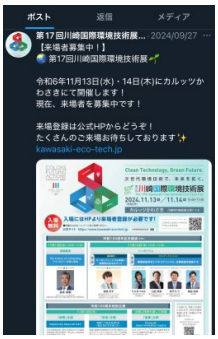
市制100周年特別企画ページ

注目の出展企業ページ

開催概要・出展者情報・講演会/セミナー情報・ビジネスマッチング他、来場者および出展者に向けた多彩な情報を掲載しました

SNS

X



Facebook

Instagram

学生SNS

多くのご出展・ご協賛・ご来場をいただき、誠にありがとうございました。

次回のご出展・ご来場もお待ちしています。

問い合わせ先　川崎市経済労働局イノベーション推進部
TEL:044-200-2335　E-mail：28ecotech@city.kawasaki.jp